



各位

2026 年 7 月 15 日
株式会社 ABEJA

ABEJA、株式会社 MONO BRAIN の完全子会社化に関するお知らせ



株式会社 ABEJA（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岡田 陽介、以下「ABEJA」）は、2026 年 7 月 15 日開催の取締役会において、AI ガバナンス事業を展開する株式会社 MONO BRAIN（本社：東京都、代表取締役：加藤 真規、以下「MONO BRAIN」）の全株式を取得し、完全子会社化した後、当社を存続会社として吸収合併すること（以下「本件取引」）を決議いたしましたことをお知らせいたします。

本件取引は、AI の安全性及び信頼性を担保する「技術基盤の構築」に加え、ミッションクリティカル業務における AI 利活用で求められる「運用環境の評価・整備」を強化し、これらを一気通貫で提供できる体制の確立を目的とした戦略的投資です。

ABEJA は、MONO BRAIN が有する AI ガバナンス領域のノウハウを、当社の「ABEJA Platform」へ融合させることで、より堅牢で透明性の高い AI 実装を顧客企業に提供してまいります。

■ 背景・目的

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ABEJA Platform を中核に、顧客の AI 活用を実運用として成立させ、継続的な高度化を実現するエンタープライズプラットフォーム事業を展開しています。ABEJA Platform は、AI を PoC（概念検証）ではなく実運用として成立させ、Agentic AI による意思決定と Physical AI による実行を統合することで、データ、意思決定、オペレーションを一体的に扱い、リアル空間における業務の高度化を支える実装基盤です。また、人と AI が協調する「Human in the Loop」を前提としたアーキテクチャの元、初期段階から AI の実運用を可能にし、「ゼロ PoC」を実現します。これにより、ミッションクリティカルな業務においても、AI を業務プロセスに組み込みながら継続的に高度化することが可能です。



MONO BRAIN は、顧客企業に AI の開発・運用に関するガバナンスおよび品質・コンプライアンス支援を提供する国内スタートアップです。AI ガバナンスや AI セキュリティの領域を主たる事業分野と位置づけ、同領域のプラットフォーム「MODEL SAFE」の構築および提供、他社との AI 共創開発、各種ガバナンス研修の実施、さらには社内規程の策定支援にいたるまで、多角的な取り組みを推進しています。

現在、生成 AI の急速な普及が産業構造を大きく変えつつあります。一方、AI の高度化・自律化に伴い、その制御要件も複雑化しており、予期せぬ動作を防ぐ技術的な安全性、社会システムに組み込まれる際の説明責任の明確化、高度なサイバーセキュリティの確保等がエンタープライズの AI 活用における重要なテーマとして顕在化しています。

AI のポテンシャルを最大限に引き出し、「信頼できる AI」として社会インフラへ定着させるためには、AI ガバナンス体制の強化が不可欠です。実際、ABEJA が顧客企業のミッションクリティカルな業務に AI を導入する際においても、AI ガバナンスをいかに担保するかが、重要な論点となっています。

こうした状況を背景に、ABEJA は MONO BRAIN を統合し、一体的な運営体制を構築いたします。

これにより、当社の強みである AI 活用の運用基盤「ABEJA Platform」及び人と AI が協調する「Human in the Loop」の仕組みに、MONO BRAIN が有する AI ガバナンス領域の専門性を融合し、ガバナンス機能の客観性・体系性を一層高めることが可能となります。

ABEJA は、高度なコンプライアンスと国内規制への適合性を包括的に担保し、技術・制度の両面からミッションクリティカル業務における AI 利活用を支える体制を構築することで、当社の提供価値をさらに強化してまいります。

なお、ABEJA は、2026 年 9 月 1 日に MONO BRAIN の全株式を取得し完全子会社化した後、当社を存続会社として吸収合併することを予定しております。

■ 概要

ABEJA は、今後、新たに以下の取り組みを進めてまいります。

(1) ABEJA における AI ガバナンス領域の深化・拡大

MONO BRAIN の現行事業である、AI の開発・運用に関するガバナンスおよび品質・コンプライアンス支援におけるノウハウを取り込み、ABEJA における AI ガバナンス領域の更なる深化及び拡大を加速化します。

(2) エンタープライズへの提供価値の最大化

ABEJA Platform 上に、より強固なガバナンス機能を搭載し、顧客企業に提供します。また Human in the Loop を用いて、ミッションクリティカル業務の要件に応えられる高い水準の安全性及び信頼性を担保し、提供価値の最大化を図ります。

(3) 専門ノウハウ・ネットワークの取り込みと組織能力の拡張

当該領域で深い専門性を有する MONO BRAIN の統合により、AI ガバナンス領域における専門ノウハウ及びネットワークを当社に取り込みます。これにより、現在急速に需要が拡大する AI ガバナンス領域への対応力を強化し、ABEJA の組織能力の拡張を推進します。



■ 本件取引の対象会社の概要

名 称	株式会社 MONO BRAIN
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 10 番 8 号渋谷道玄坂東急ビル 2F-C
設 立	2023 年 3 月
代 表	代表取締役 CEO 加藤 真規
事 業	・ AI ガバナンスプラットフォーム「MODEL SAFE」の開発・提供 ・ 顧客と共に AI プロダクト・AI 活用を設計・実装する AI 共創開発事業
URL	https://monobrain.jp/company

■ ABEJA の今後の取り組みについて

AI を社会インフラへと昇華させるためには、社会の基幹を担うエンタープライズのミッションクリティカル業務への AI 実装が鍵であり、この領域にこそ強固な「AI ガバナンス」が不可欠です。

現在、当社が展開する「エンタープライズプラットフォーム事業」と「AI ガバナンス」を高度に融合させることは、その実現に向けた重要なアプローチです。

このたび構築する新たな基盤及び体制の元、エンタープライズのミッションクリティカル業務への注力を一層強化し、AI の社会実装を一段上のステージへと引きあげられるよう、進めてまいります。

ABEJA は、引き続きミッションクリティカル業務に注力するとともに、用途や業界の中長期的な拡張性を視野に、マイノリティ出資などを活用しながら積極的な業務連携を推進し、ABEJA の技術やノウハウをより広範に展開してまいります。

■ 株式会社 ABEJA について

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ABEJA Platform を中核に、顧客の AI 活用を実運用として成立させ、継続的な高度化を実現するエンタープライズプラットフォーム事業を展開しています。ABEJA Platform は、AI を PoC（概念検証）ではなく実運用として成立させ、Agentic AI による意思決定と Physical AI による実行を統合することで、データ、意思決定、オペレーションを一体的に扱い、リアル空間における業務の高度化を支える実装基盤です。また、人と AI が協調する「Human in the Loop」を前提としたアーキテクチャの元、初期段階から AI の実運用を可能にし、「ゼロ PoC」を実現します。これにより、ミッションクリティカルな業務においても、AI を業務プロセスに組み込みながら継続的に高度化することが可能です。

本 社：東京都港区三田一丁目 1 番 14 号 Bizflex 麻布十番 2 階

設 立：2012 年 9 月 10 日

代 表：代表取締役 CEO 岡田 陽介

事 業：顧客の AI 活用を実運用として成立させ、継続的な高度化を実現する「エンタープライズプラットフォーム事業」

URL：<https://abejainc.com>